

脳死肝移植

岡山大で終了

50代男性容体安定

岡山大病院（岡山市北区鹿田町）で19日、非代償性肝硬変を患う50代男性Ⅱ広島県在住Ⅱへの脳死肝移植手術が行われ、無事終了した。同病院によると、容体

は安定しているという。

八木孝仁・肝胆かんたんすい脾外科教授ら約15人のチームが担

当。午前10時22分に始まり、約7時間50分後の午後6時7分に終わった。

男性は重い肝不全で移植でしか救命できない状態となり、2011年7月に日本臓器移植ネットワークに

登録していた。

ネットワークによると、ドナー（臓器提供者）は鹿児島市立病院に重症頭部外傷で入院していた60代男性。

岡山大病院の脳死肝移植手術は24例目、生体と合わせて361例目。

（伊丹友香）